最終号
第336号
社会福祉法人エデンの園
2025年 1 月25日

一粒の麦

ひとつぶのむぎ

47年間ありがとう！

聖書のことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。（聖書　ヨハネの福音書12章24節）

2025年　年頭のご挨拶

宇都宮　知　敬 (社会福祉法人エデンの園　理事長)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より当法人のサービスをご利用いただき、心より御礼申し上げます。皆様の温かいご支援のおかげをもちまして、無事に新しい年を迎えることができました。

当法人は昭和52年に「社会福祉法人エデンの園」として設立され、【キリストの愛(自分を愛するように、隣人を愛する)の精神による利用者支援】を理念に掲げ、47年間にわたり障がい福祉サービスの提供を続けてまいりました。これもひとえに、地域の皆様の温かいご支援の賜物であると深く感謝しております。

しかしながら、少子高齢化や社会情勢の変化に伴い、法人の運営基盤をさらに強固なものとし、将来にわたって安定的なサービス提供を維持するため、このたび「社会福祉法人玉扇会」との合併を決定いたしました。合併後は新法人「社会福祉法人MAG」として再編成されることになりますが、これまでの基本理念を継承し、引き続き地域社会のニーズに応えるサービスを提供してまいります。

私どもは、これからも利用者の皆様及びそのご家族にとってより良い支援を実現するため、日々研鑽を積み、創意工夫を重ねながら、地域社会の発展に貢献することを使命として取り組んでまいります。変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますことを心より祈念申し上げます。

甲　斐　さち子 (社会福祉法人エデンの園　施設長)

エデンの園の歴史を紡いで、40年以上の月日が過ぎ、様々なニーズに応えられるよう事業を拡大してまいりました。

「障がい者支援施設エデンの園」も、47年の月日の中で、様々な方々に支えられ、時代に即した支援を行ってまいりました。開設当時からおられる利用者の方もおられます。

これまで多くの職員が、日々悩みながら、考えながらこの施設を盛り立ててくれました。

そういった方々の思いを、これからも紡いでいけたらと思っています。その中でも、ご家族との結びつきも大きな財産です。

この先も、３年毎の制度改正や重度化・高齢化と課題は沢山ありますが、「障がい者支援施設　エデンの園」は、利用者さん一人ひとりに寄り添い・思いに応えられるよう、職員一同が精進してまいります。

～利用者の方々の笑顔と可能性を引き出せるよう、職員のパワーとチームワークで必要とされる施設作りを目指していきます～

これからも、変わらずよろしくお願いいたします。

●エデンの園

櫻　木　　　香 (事務局　副施設長)

時代の変革と共に姿や形は変わりますが、47年前に始まったエデンの園のスピリットは、今もなお関われた全ての人たちの心に深く根付いています。これまでの時代を繋いでいった先人たちの努力と情熱の積み重なりは、私達に受け継がれた希望となり、未来へと続く道しるべになることと思います。これからもそのスピリットを心に携え、新しい時代を切り開く中で、その根本的な価値を忘れることなく次の世代に伝えていく責任を果たしていきたいです。

光　森　勇　人 (入所　リーダー)

エデンの園に入職して15年が経ちました。世間知らずの私がエデンの園で様々な経験やたくさんの利用者・職員と関わる中で、少しずつ成長できたかなと思います。またこの15年間で障がい福祉の情勢やそれに伴い法人の事業が大きく変化をしていきながら、利用者像も変わってきました。そういった変化に私達職員も日々対応しながら、障がい福祉への学びを深めてきました。これからの新しい時代に向けて、私が培ったものを利用者や法人に還元していきます。変化を恐れず、利用者の方々のニーズに合った最新のサービスを提供できる法人・事業所を目指していけたらと思います。

塩　満　裕　子 (入所　生活支援員)

私がエデンの園に入職した時は、社会参加を目指して訓練の時代でした。作業訓練として養鶏班、飼育班、農園芸班、陶芸班があり、私は、始めは養鶏班で鶏を飼育し、卵を売る為地域を歩いて売ったり、色々なイベントに出掛けて陶芸の作品を販売していました。作業班で販売した収益で毎年、旅行に出かけていました。私も色んな所に旅行が出来て本当に楽しかったです。

川　越　裕　美 (入所　生活支援員)

一粒の麦の読者として、毎号楽しみに拝読していました。また別の形で利用者様の様子等を発信できたらと思います。

田　中　直　美 (入所　生活支援員)

平成23年３月に入職し、早14年が過ぎました。毎日利用者様の笑顔に助けられながらあっという間の日々だったと思います。障がい者施設の支援は初めてで戸惑うばかりでしたが、「おはよう」「昨日は何してた」「お疲れさん」「バイバイ」と言葉をかけて頂いたおかげで、私の心も軽く温かくなったのを覚えています。利用者の皆さんは知的障害やその他のハンデを抱えながら逞しく生きていらっしゃいます。一人一人がその人らしく生活できるよう少しでもお手伝いが出来たらいいなあ、と思いながら接しています。行政の制度の変化、利用者様の高齢化に伴い支援方法も常に変わっていきますが、『利用者様の最善の利益と笑顔を守る』という信念は変えずに今後も関わっていきたいです。

●びえんと

長　友　　　茂 (びえんと　リーダー)

令和４年８月に法人初の介護保険事業所として産声を上げ、早いもので３年目に入りました。法人施設等に入所されているご利用者様も６５歳を迎えられた方々も年々増えてこられています。障害福祉と介護保険の制度は、似て非なる部分が多分にありますが、ご利用者様が、それまでの生活スタイルを変えることなく移行できるように微力ながら尽力したいと考えております。
47年間の法人の歴史は、先人たちが積み上げてきたことだと忘れることなく、今後も事業所として精進して参ります。

●麦わらぼうし

長　友　健　志 (麦わらぼうし　サブマネージャー)

福祉に身を置くようになって20年が過ぎようとしています。エデンの園では障がい者福祉に関わり1年と半年が過ぎようとしていますが、人との関りは違えど障がい者支援の難しさ奥深さをたくさん学んだように思います。これからは一つ一つの事業所が点ではなく、線で固く繋がっていけるよう新しい法人の考えに沿って邁進してまいります。

山　本　和　寛（麦わらぼうし　児童発達支援管理責任者）

生意気な20代前半で入職してもう17年が経ちました。これまでいろいろな上司の方々や先輩方に可愛がってもらい、利用者の皆様にも可愛がってもらいながら人として少しずつ成長してこれました。エデンの園には感謝しかありません。これから法人が変わりますが、私たちのやるべきことは変わらないので、先人の想いを忘れずにこれからも邁進していきたいと思います。

●相談支援事業所

荒　川　英　之（相談支援　管理者）

法人の立ち上げに尽力された方々に、少しでも胸を張って会えるように、遠くも見ながら、目の前のことを丁寧にやっていきたいと思います。

長　友　真佐子（相談支援　相談員）

エデンの園と共に約26年の時を過ごしてまいりました。多くの利用者と出会い、一方多くの方との別れもありましたが、多くの事を学び、成長させていただきました。社会福祉法人エデンの園に敬意を表するとともに感謝です。

●りんぐ

工　藤　由　美（りんぐ　管理者）

社会福祉法人エデンの園が誕生し47年間という長い月日の中で、たくさんの思い出や歴史が刻まれてきたと思います。また、たくさんの諸先輩方の歴史や利用者さまへの思いも感じられます。これから新たな法人へ繋がれていきますが、私たちのやるべきことは、今までと何ら変わりないと思います。

「利用者さまに寄り添った支援を」を第一に諸先輩方々に恥じぬよう今まで以上に努力し精進していきます。

蛯　原　　　翼（りんぐ　リーダー）

平成18年21歳で入社し、エデンの園と共に約19年の時が経ちました。エデンの園を通じて、様々な人と出会い、経験をし、沢山の成長をさせていただきました。これからも新しい法人名Ａｄｖａｎｃｅという意味のように自分自身も人として前進し続けたいと思います。

町　田　紀　恵（りんぐ　サービス管理責任者）

平成２年４月に入職　35年（産休育休を含む）入所勤務後グループホームで勤めています。エデンの園一筋、健康に恵まれ家族の協力を得ながら勤める事が出来ました。長年勤めていると、楽しいこと、嬉しいこと、辛いこと、悲しいこといろいろなことがたくさんあり、どの経験も私の宝物になっています。失敗することもありましたが、エデンの園、利用者と共に成長できたのではないかと思っています。長年勤める事ができ感謝しています。

森　崎　千恵子（りんぐ　世話人兼生活支援員）

エデンの園に平成元年９月に入職し、利用者様と共に長い年月を歩んでまいりました。その間には支援に苦悩したこと、利用者様との悲しいお別れなど辛い事もありました。

しかしそれ以上に数々の楽しい思い出も。毎朝行進や応援の練習を行った秋の運動会、飛行機に乗って全利用者様・ご家族と行った東京ディズニーランド旅行など。これからも利用様が健康で笑顔で過ごせるよう、職員一同頑張っていきたいと思います。

日　髙　　　薫（りんぐ　世話人兼生活支援員）

入職し11年目になります。時代流れの中で、私自身の時も重ね沢山の経験や学びがありました。利用者様やご家族、職員の皆様との沢山の出会いに感謝しています。創立歴史あるエデンの園から、新しい法人でも福祉人として愛のある支援と、初心に戻る気持ちを忘れないよう努めたいと思います。

●つむぎ

渡　辺　孝　久（つむぎ　管理者）

就労継続支援B型事業所つむぎに配属されて数年。管理者として1年が過ぎようとしています。私にとってつむぎでの仕事は、やりがいのある仕事との出会いとなりました。利用者様と一緒に仕事を行い、利用者様と共に汗を流す事で、利用者様との距離感も縮まり、人と人のつながりを深める事が出来たのも、つむぎとの出会いのおかげだと思います。

利用者様との出会い、人との出会い、社会福祉法人エデンの園との出会い、日々の色々な出会いに感謝したいと思っています。また、これからも利用者様の笑顔を仕事の糧にし、法人の発展に向け、つむぎ職員一同頑張っていこうと思います。

●あゆむ

東　屋　理　香（あゆむ　管理者）

入職し10年の月日の中で、エデンの園の社歴と共に自分自身の時間も流れてきました。これまでを振り返った時に、その時代の出来事は色あせる事なく、当時の出来事の様に思い出されます。そして、私自身に多くの経験をさせて頂いた事は、感謝としての気持ちとして10年経った今でも、自分を原点に立たせてくれます。創り上げてきた歴史を大切にしながらも、新しく発展・変化をしていく新法人の力となれるように私自身も挑戦していきたいと思います。

日　髙　信二郎（あゆむ　生活支援員）

“光陰矢の如し”エデンの園に復帰して早や10年（施設勤務含めて25年）。ふれあい、つむぎ、あゆむと経験させていただき感謝です！ご利用者様の笑顔と優しさ、職員の皆様の御助言と励ましで支えられて来ました。これからも私の主イエスさまと共に歩んでまいります。

●るるテラス

谷　口　博　久（るるテラス　相談員）

時の流れは早いもので入職し13年の月日が流れようとしています。この期間様々なことを経験させていただくとともに自分自身のなかにも大きな変化を生むことができました。それまで児童福祉、高齢者福祉に携わってきましたが利用者の皆さんと関わる日々の中で、自分の考えが援助が支援がすべて正しいことでないこと、私たちの社会のルールが利用者の皆さんにとっては「生きづらさ」の要因になっていることなど多くのことを学ばせていただきました。一番の思い出は元「花の街」の利用者様、ご家族の皆さん、そして同じチーム職員で切磋琢磨し試行錯誤しながら24時間シートを協力し作成したことや色々な外出案を考えて実行したことがいい思い出になりました。いままで本当にありがとうございました。

これから、新たな一歩を踏み出し諸先輩方や創立者の思想を進化させた法人に尽力できればと考えます。

●結

大　山　貴　司（結　管理者）

47年間にわたり、多くの方々に支えられながら社会福祉に尽力してまいりました「社会福祉法人エデンの園」に、改めて深く敬意を表します。この歩みをともにしてくださった関係者の皆さまお一人おひとりに、心より感謝申し上げます。

これからも、新しい未来に向けて、さらなる発展を目指してまい進してまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援とご理解を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

渡　部　強　士（結　目標工賃達成指導員）

私が入職して10年以上が経過しました。その中で事業所や関わる事業所は変わりましたが、利用者様のためになる支援をし、より良い生活を送ってもらいたいという気持ちは変わりませんでした。これからもその気持ちを胸にし、皆が幸せになれるよう進んで行きたいと思います。

土曜学校メッセージ

金　桓基　牧師(宮崎めぐみ聖書教会)
荒平　大輔　牧師(宮崎北聖書キリスト教会)
山口　英希　牧師(宮崎清水町教会)
張　宇成　牧師(宮崎教会)　浅野　謙　牧師(霧島キリスト教会)

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。

Facebook
ホームページ

寄贈品・寄附金ありがとうございます。(11月～1月)

あゆみの里、鹿嶋和俊様、宮越辰夫様、安田恵子様、川添浩司様、コスモ設計様、原口民子様、上野聖子様、野元あゆみ様
宮王丸郵便局様、森工務店様、ライフサポート様、大川内美智子様、電気管理協会 岩田様、丸山美代様、横山時義様
中原貴代美様、マルキプロパン様、山口英希様、ケアサービス田之上様、飯田郁子様、福田京子様、幸野吉子様

編集後記

社会福祉法人エデンの園も長い歴史の中で47年を迎え、これまで色々な事がありました。私もエデンの園へ入職し、10年の月日を迎えようとしています。初めての職場がエデンの園という事もあって、障がい者の方との関わりは学生時代の実習のみで就職するまで殆どありませんでした。始めは左も右も分からないままでの入職で、利用者の方を始め、先輩の職員方と関わっていくのも不安が大きく、続けていけるのか不安な毎日でしたが、日々の利用者様方との何気ない会話であったり、優しくご指導して下さる先輩方のおかげで、今日まで頑張り続けることが出来ました。仕事に関しては、利用者の支援という部分で慣れない事が多く、始めは躓く事も多々ありましたが、精一杯努力して自分なりの支援方法を確立し、それが利用者の方の為になる喜びも並行して味わうことができ、思っていたよりも大きなやりがいを感じる仕事だと実感しました。エデンの園で10年を迎えるにあたり、入所からグループホーム(現在)までの過程で色々な方々との出会い、体験を通して、自分を成長させてくださいました。まだこれから色んな出会いや出来事が沢山待っていると思います。もう10年ではなく、まだ10年と言った新鮮な気持ちで今一度初心に戻り、成長させていただいたエデンの園に感謝して、新たに頑張っていきたいと思います。

世話人兼生活支援員　　保　利　　翼

■発行日　2024年１月25日　■発　行　社会福祉法人エデンの園　■発行者　エデンの園 ゼネラルマネージャー　甲斐さち子
〒880-1114　宮崎県東諸県郡国富町三名2621-5　TEL.0985-65-6685　FAX.0985-75-1160
http://miyazakieden/ec-net.jp/　E-mail miyazaki-eden@sirius.ocn.ne.jp